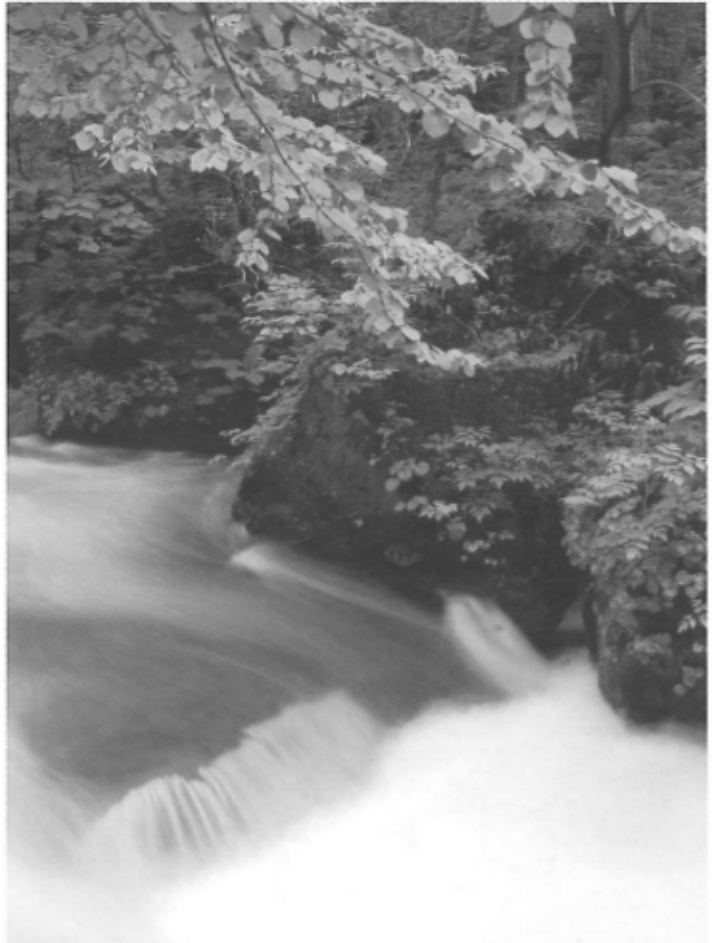


変えよう地球環境

変えようライフスタイル



地球温暖化への取り組み

地球規模で進行する環境破壊は、人類全体の生存を脅かす大きな問題としてクローズアップされています。市においても、環境の保全を重点課題と位置づけ、市の責務として自らの施策の実施に伴う環境への負荷の低減に努めるため平成十年に「都留市環境保全行動計画」を策定し「事務・事業など」に10%の削減目標を定めて環境に配慮した自主的な取り組みを積極的に進めてまいりました。

また、地球温暖化防止京都会議で先進国の減量数値が定められ、国においても温室効果ガスの総排出量を平成二十年から二十四年までに平成二年のレベルから6%の削減目標がかかげられました。そして最重要課題として「地球温暖化対策の推進に関する法律」が平成十一年に施行され基本方針のなかで国、地方公共団体、事業者、国民の取り組みの基本的事項が明らかにされました。法律第8条のなかで市町村は自らの事務及び事業に関し温室効果ガス排出量の削減目標を定めた実行計画書を策定することが義務づけられました。本市におきましては平成十年の削減数値からさらに2.6%の削減目標を定めて平成十三年三月に作成しました（四月現在三、一四七自治体のうち四五二自治体が作成）。その取り組み内容について紹介します。

私たちが日常生活のなかで、何気なく行っている行為を少しずつ改善することによって地球は変わります。未来のために出来ることから始めましょう。

地球の温暖化とは

地球の平均気温は、太陽から地球に降り注ぐエネルギーと、地球から宇宙に向かって放出されるエネルギーとのバランスにより、これまでは十五度に保たれていました。

しかし、産業革命に象徴される科学技術の発達により、物質・エネルギー消費量が急激に増大しそれに伴い排出される二酸化炭素（一七五〇年以降、大気中の二酸化炭素濃度は31%増加し、現在の増加率は少なくとも過去二万年では前例のない高い値だそうです）をはじめとする温室効果ガスも増え、それらが宇宙へのエネルギーの放出を妨げて地表面の温度が上昇する現象です。いま、地球の平均気温が上昇し続けています。過去五十年間に観測された温暖化の大部分が人間の活動に起因していると言われています。

地球全体の平均気温は一八六〇年から現在までに〇・四から〇・八度上昇しており、このまま何らかの対策を行わない場合二十一世紀末までにさらに一・四から五・八度上昇すると予測されています。氷河期でも今より三から六度低いだけでしたから大幅に気温の上昇が続くと次のような深刻な影響が予測されます。

将来予測

- ① 大気成分の悪化
- ② 気温の上昇
- ③ 降水量の増加
- ④ 異常気象現象
- ⑤ モンスーン
- ⑥ 水河と氷床などの減少
- ⑦ 海面上昇
- ⑧ 温暖化の長期的継続
- ⑨ 物理・生物システムへの影響
- ⑩ 農作物への被害
- ⑪ 水質の悪化
- ⑫ 健康への影響
- ⑬ 居住への影響
- ⑭ エネルギーへの影響
- ⑮ 産業への影響



国・地方公共団体は

自らの事務及び事業に！

事業者はその事業活動に！

国民はその日常生活に！

温室効果ガスの排出の抑制などに努める。